

## 正誤表

本書中に訂正箇所等がございました。訂正し、お詫び致します。お手数をお掛けしますが、訂正箇所を書き込んでお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

(2011年10月18日作成 2012年5月1日更新)

### <本正誤表掲載情報>

[P1] 第1刷(2011年10月15日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

### ■第2版 第1刷(2011年10月15日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
第1章					
15	図3タイトル	脂質二重 <b>膜</b>	脂質二重 <b>層</b>		11/10/18
25	図4タイトル	酸化的リン酸によりATPが合成される	酸化的リン酸 <b>化</b> によりATPが合成される		11/10/18
第2章					
38	図1の右側	( <b>キナーゼ</b> として働く)	( <b>ヘリカーゼ</b> として働く)		11/10/18
45	左側上から13行目	指定する <b>同義コドン</b> に変化すると影響は出ないが	指定する <b>同義コドン(同義語コドン)</b> に変化すると影響は出ないが		11/10/18
第4章					
79	図5の右下の文章	リプレッサーの <b>合成も</b> トリプトファンで <b>上昇</b> する	リプレッサーの <b>転写</b> はトリプトファンで <b>下降</b> する		11/10/18
85	図2の中の表の一番下の段	SAGA( <b>クロマチンリモデリング因子</b> )	SAGA( <b>コアクチベーター</b> )		11/10/18
90	図2の*1	*1 <b>リンパ球で強く働く</b>	*1 <b>普遍的に働く</b>	図2の*1と*2の解説の入れ替え	11/11/02
90	図2の*2	*2 <b>普遍的に働く</b>	*2 <b>リンパ球で強く働く</b>	図2の*1と*2の解説の入れ替え	11/11/02
第13章					
243	図6		Ca <sup>2+</sup> からCaMKIVへ、矢印1本を加える	下記図表の※1参照	12/05/01
索引					
260	左側から3列目の下から5、6行目	<b>同義語コドン…64</b> <b>同義コドン…45</b>	<b>同義コドン(同義語コドン)…45, 64</b>		11/10/18

### 図表

※1

